



# koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077

https://kouryo-high-school.com / メール kouryo@chibagakuen.ac.jp

## 太鼓部 はっちでお正月



1月2日(木)、八戸ポータルミュージアムはっちにおいて太鼓部がステージ発表を行った。昨年度に続き、新年を祝う華やかなイベント「はっちでお正月2025」のオープニングを飾った。本校単独で1曲、創作太鼓「響」の皆さんとのコラボレーションで1曲、計2曲を披露。会場には多くの観客が集まり、発表者らに大きな拍手を送っていた。はっちでのイベントに初参加した西野旬さん(1年・大館中学校出身)は「非常に緊張しました。緊張で立ち位置を間違えたりしましたが、演奏の方は最後までやりきることができました。家族も見に来てくれましたし、褒めてもらえて嬉しかったです」と感想を述べた。

## バンドクリニックに参加

1月11日(土)、八戸聖ウルスラ学院高等学校で行われたバンドクリニックに軽音楽部が参加した。ヤマハから講師の森山先生をお招きして、機材の正しい使い方や盛り上げ方などを学んだ。今回の参加校は、本校と八戸聖ウルスラ学院高等学校の2校だったが、楽器演奏の技術はもちろん、各バンドのいいところを意見交換するなどして交流を深めた。2年生は、今回のクリニックに初参加ということで、口々に「参加して良かった」と述べていた。3年生を送る会で学んだことを実践してみたいと笑顔で語ってくれた。



## 【生徒感想】

1年 野田 愁斗(豊崎中学校出身)  
初めて他校の生徒と交流練習会・鑑賞会に参加しました。参加してみて、自分たちの実力も分かったし、ウルスラ学院のバンドの凄さも分かったのが収穫でした。バンドは、勝ち負けではないですが、一緒に参加したウルスラ学院の皆さんをリスペクトし、向陵のレベルアップに向け練習に励みたいと思います。

2年 磯谷 雪風(白銀中学校出身)  
1曲終わる度に森山先生から指導を頂く「ライブ形式」で演奏をしました。私はドラムを担当していますが、強弱をつけた演奏の仕方を教わりました。また、演奏中のパフォーマンスの仕方を教えてもらったりと学ぶことが多かったです。ウルスラ学院の方のドラムは凄く安定していたので、自分も見習わなくてはと思いました。同世代の仲間と交流することは普段ないので貴重な体験となりました。

2年 目時 静音(十和田市立千和田第二中学校出身)  
ライブは、観客側としての盛り上げ方、演奏側としての盛り上げ方があり、お互いが盛り上がるようにパフォーマンスをすることを教えていただきました。ヴォーカルとしては、マイクの使いこなし方を教えていただきました。最後は、ウルスラ学院のバンドと自分たちのバンドのいいところを意見交換できたので、いい刺激になりました。参加して本当に良かったです。

## 同窓会懇親会



1月11日(土)、八戸パークホテルにおいて同窓会「陵雲会」総会・懇親会が開かれた。総会後の懇親会では、参加者たちが近況報告をしながら交流した。年に一度のこの会への参加を待ち望んでいたと話したOBの方は、「同窓生に会えるのも嬉しいですが、先生方に会えるのがいいですね。お互いに年を重ねているのですが、一気に高校生の時に戻れるこの感じが何とも言えません」と笑顔を見せた。今年は、昨年度の卒業生が多く参加し、同学年さらには先輩方との交流を楽しんだ。最後は全員で校歌を合唱し懇親会は終了した。



## 異文化体験



1月23日(木)、学校設定教科「現代を生きるI「人間と文化」」の授業の中で2年生が手食文化を体験した。生徒たちは、事前に手食で食べている国のことを調べたり、使う手、指の意味を勉強してから、実際に手でカレーを食べることに挑戦した。指先だから感じる熱さや硬さなど「手」でなければ味わえない感触に戸惑いながらも、一人食べ始めると次々とカレーに手を伸ばした。手で食べることによって、改めて自分たちの国の食文化を見つめ直すきっかけになったようだ。

## 冬のスポーツをエンジョイ

1月28日(火)、テクノルアイスパーク新井田にてスケート教室が行われた。生徒たちは、久しぶりの氷の感覚を自由滑走しながらそれぞれ楽しんでいった。また、毎年恒例の教員チーム対各学年のアイスホッケー対決は一番の盛り上がりを見せた。連戦に息を切らしつつ意地でも負けたくない教員と教員から意地でも点を取りたい生徒たちの戦い。生徒のシュートが決まると全校が歓声をあげた。東京から来ている長谷川航太さん(1年・江東区立深川第四中学校出身)は、「初めてスケートを滑りました。最初は全く滑ることができませんでしたが、八戸の人たちから滑り方を教わり、最後の方は少し滑ることができました。先生方と対決したアイスホッケーも楽しかったです。スティックを持つのも初めてでしたが、皆で協力して攻め、シュートを決めるころはサッカーにも共通しているのを見ていても参加してもワクワクしました。冬のスポーツになかなか触れる機会がなかったので新鮮な体験でした」と感想を語ってくれた。





# 1年生進路ガイダンス



1月17日(水)、ライセンスアカデミー主催の1年生進路ガイダンスが行われた。前半は全員で講師の横関信太郎さんの講演を聞いた。横関さんは、高校生のうちに身につけるべき事として「ON・OFFの区別」「お金と時間の約束を守る」ということを挙げた。なかでも高校生は時間の約束が大事として「遅刻しないことはもちろん、提出物の期限は絶対守る」と述べた。「期限を守れない・守らない人に仕事を任せたいと思いませんか」と問い、仕事において信頼関係が大事とした。また、「苦手」は誰にでもあるものとし、だからこそ「苦手」で済ませることなく、どう取り組むのが重要とした。後半は、8分野に分かれ専門分野の方々に協力いただき職業別体験型授業に参加した。

## 【コンピュータ】

◎北上コンピュータ・アカデミー  
アルコリスムの体験授業

1年 中居 怜音(江陽中学校出身)

自分の知っている分野に加え、新しいことを知ることができて良かったです。自分で調べることには限りがあるので、講師の横関さんがおっしゃっていたように早めにオープンキャンパスに行ってお情報収集したいと思いました。進路はまだ具体的には決めていませんが、コンピュータ関係の仕事に就きたいという思いはあるので、今日のガイダンスで選択肢が増えました。



## 【エンタメ関係】

◎キャンパスアカデミー「エンタメはじめの一步」

1年 柳 朔愛(十和田市立甲東中学校出身)

講師の方のお話を聞き、物を作り出す仕事は多いと感じました。物作りといっても、どういう関わり方をするのかによっても仕事の分野が増えるので、さらに興味があわきました。自分が好きな物作りの仕事に就けるよう、自分に合った職種選びをしっかりしていきたいと思っています。



## 【理美容師】

◎八戸理美容専門学校「美容の技術体験」

1年 三浦 咲月(明治中学校出身)

ネイルアートの体験をしました。各自が自由にデザインしました。爪の限られた面積に絵を描くのは非常に難しかったです。平面ではなくカーブしているところもあるため、ネイルを盛り上げたり細かく筆を使うのは大変でしたが、楽しかったです。講師の方が、「細かい作業は、とにかく練習が大事」とおっしゃっていたので、仕事としてやっても練習が欠かさないという点が新たな発見でした。これまで自己流でやっていたことはありましたが、今回体験してもっと理美容のことについて学びたいと思いました。



## 【福祉関係】

◎社会福祉法人徳望会特別養護老人ホーム見心園

1年 佐々木 愛莉(根城中学校出身)

日本は急激に高齢化が進んでいて、その中で介護の専門職の必要性が高まっています。自分が思っていたより「福祉の仕事」の種類が多いということに気づくことができました。お話を聞いた中にも興味があるものがあつたので、さっそく進路研究をしていきたいです。



## 【スポーツ】

◎盛岡情報ITクリエーター専門学校 大原ビジネス

1年 頼住 隆汰(厚木市立小鮎中学校出身)

効果的なトレーニングの方法を教わりました。普段部活動でやっているトレーニングを、少し工夫するだけで鍛えたいところに負荷をかけることができました。今後の練習にも生かしていきたいです。トレーナーのお話を聞きましたが、トレーナーにも数多くの種類がありました。私は、正直まだ具体的な進路を考えて



いません。そのため、まずはいろいろな職種や学校を調べてみたいと思います。普段の学校生活を見直し、進路に向けて準備していかないといけないと感じました。

## 【販売・マーケティング・簿記】

◎函館大学「eのマネジメント」

1年 王原 鋭強  
(下長中学校出身)

私は将来、起業したいと考えています。ガイダンスの中で販売の流れを教わったり、利益の計算などをしました。商品開発や売るための戦略など考えるのも楽しそうだと思います。ますます起業したいという思いが強まりました。しかし、勉強しないと先に繋がらないので将来のために、今の勉強を頑張りたいと思います。1年生のうちから準備することは大事だと思います。



## 【公務員】

◎ライセンスアカデミー

1年 山田 美結愛(根城中学校出身)

私は、将来公務員を希望しています。今回、公務員の種類として国家公務員と地方公務員があることをお聞きしました。また、職種としていくつもの分野に分かれていることもわかりました。難易度も含めて自分がどんな職種に就きたいのかを調べたいと思いました。講師の方にきていただいて進路研究できる機会があつて良かったです。



## 【幼稚園教諭】

◎八戸学院大学・八戸学院短期大学部

1年 伊東 茜音(是川中学校出身)

幼稚園教諭は、コミュニケーション能力もなければならぬし、ピアノが弾けるようになることも必要だと聞きました。今の自分には正直難しいと感じました。しかし、どんな仕事に就くにしても、コミュニケーション能力は大事なので、進路決定のために磨くべき点だと思いました。講師の先生のように仕事を楽しいと感じながら働くことができました。ありがとうございました。



# 2年生進路ガイダンス

1月22日(水)5、6校時にキャリアアップロアユース株式会社主催で2学年進路ガイダンスが行われた。今回のガイダンスでは、有限会社松建、株式会社小滝建設工業、株式会社アース、株式会社タナカ工業、八戸ベイント、認定こども園すぎのこ保育園の方々をお招きし講演いただいた。



生徒たちが、それぞれグループに分かれて4つの企業様を回る形で行った。講師の方々は、自身が働く職種の状況、現場の情報、また、どうやって今の仕事を選んだのかなど、社会人としてはもちろん人生の先輩として、お話をしてくださった。生徒たちは、お金を稼ぐことだけではない「働くことの意味」について学んだガイダンスとなった。

## 2年 末次 隼士(横浜市立荏田南中学校出身)

今回の小滝建設のお話の中で、お金を優先したり、お金の縛られることはあまりよくないと聞き、その通りだと思いました。お金よりやりがいや会社の理念を大切にすることが働くことには必要だと感じました。また、仕事をするにはコミュニケーション能力が非常に大事だと思いました。保育園では、第三者と話す、親と話す、子供と話すなど、会話する相手が多くなるので相手に合わせて話すことが重要になってきます。私は、サッカーのコーチになりたいと思っています。そのために、サッカーの技術と人に教える力、コミュニケーション能力を磨いていこうと思います。今後の高校生活は何事にも全力で取り組み、楽しみながら過ごしていきたいと思います。

## 2年 大山 佑依(北稜中学校出身)

私は、今まで「働く」とは、給料を得るための手段だと思っていました。しかし、講話を聞き動いて「自分の幸せを追いかけたい」ことが可能だと知りました。働くには、素直さが必要だと思います。これは、どの方も口を揃えておっしゃっていました。素直だと、言われたことを吸収しやすいです。任された仕事を率直に頑張ることができるといいと思います。また、仕事に能力を生かせるといいと思います。得意なことをして頼られるのは、やりがいを感ずると思うからです。それが幸せに繋がると感じます。今回の講話を踏まえて、今後は、自分が何が得意なのかをはっきりさせて、どのような仕事に生かせるのか、意識して生活しようと思いました。